

災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン作成

研究目的

我が国での大規模災害時の被災者の大多数を占める高齢者には、災害の亜急性期(4日以降)から慢性期にかけて疾患が多発し、災害関連死が多いことが知られている。災害時の高齢者に多発する疾病への初期医療対応・救急搬送基準を策定する。

研究成果

「高齢者災害時医療ガイドライン」(全336頁): 医療者・自治体向け

「一般救護者用・災害時高齢者医療マニュアル」(全25頁): 一般救護者向け

- 災害発生時の経時的に高齢者に起こりうる医療需要予測・評価
- 急性期疾患への初期対応、搬送基準
- 慢性期疾患への対応、搬送基準
- 主要症候と初期対応法
- 自治体の初期対応と福祉避難所設営
- 自治体他の医薬品、医療機材備蓄
- 高齢者家屋の防災処置
- 過去の災害での高齢者医療出動

避難所での高齢者の重要な疾患の特徴と予防法

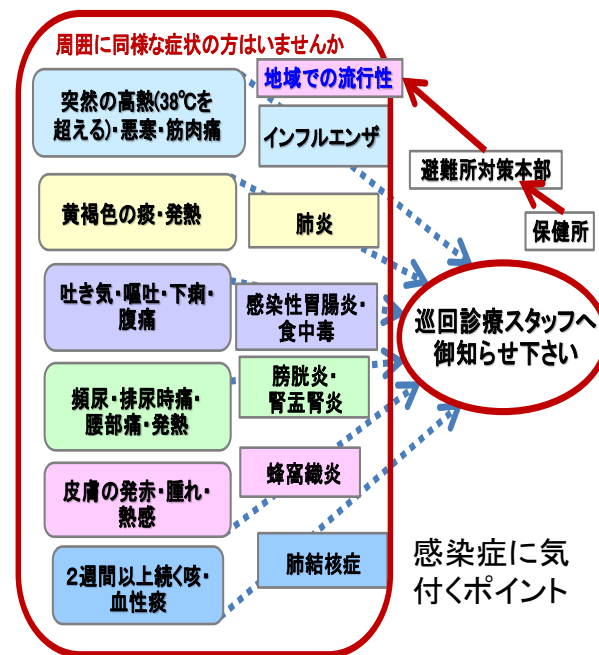
- 虚血性心疾患・高血圧、● 脳卒中、● 感染症、● 脱水症、● 栄養障害、● 消化器疾患、● 糖尿病、● 喘息、● 慢性閉塞性肺疾患、● 腎臓病、● 泌尿器科疾患、● ストレス障害、● うつ状態、● 認知症、● せん妄、● 歯科疾患、● 生活不活発病

高齢者急性疾患の症候

- 意識障害、● ショック症状、● 呼吸困難、● 急性復症、● 神経症状、● 胸痛、● 高血圧緊急症、● 発熱、● 血尿

高齢者で注意を要する症状

- 嚥下障害、● 下痢、● 便秘



口腔ケア

東日本大震災(2011年3月11日)への対応

● ホームページに掲載

平成23年3月11日大震災に合わせ、日本老年医学会と共同でホームページ(<http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/>)に「一般救護者用・災害時高齢者医療マニュアル」(試作版)第2版(全25頁)および「高齢者災害時医療ガイドライン」(全329頁)を掲載した。

● 被災各県避難所に冊子配布

「一般救護者用災害時高齢者医療マニュアル」(全25頁)については、冊子体として2万部印刷し、日本老年医学会会員の所属する病院の救護班、あるいは各県日本医師会からのJMAT救護班を経由し、東北各県の被災地避難所へ配布した。

● 海外への情報発信

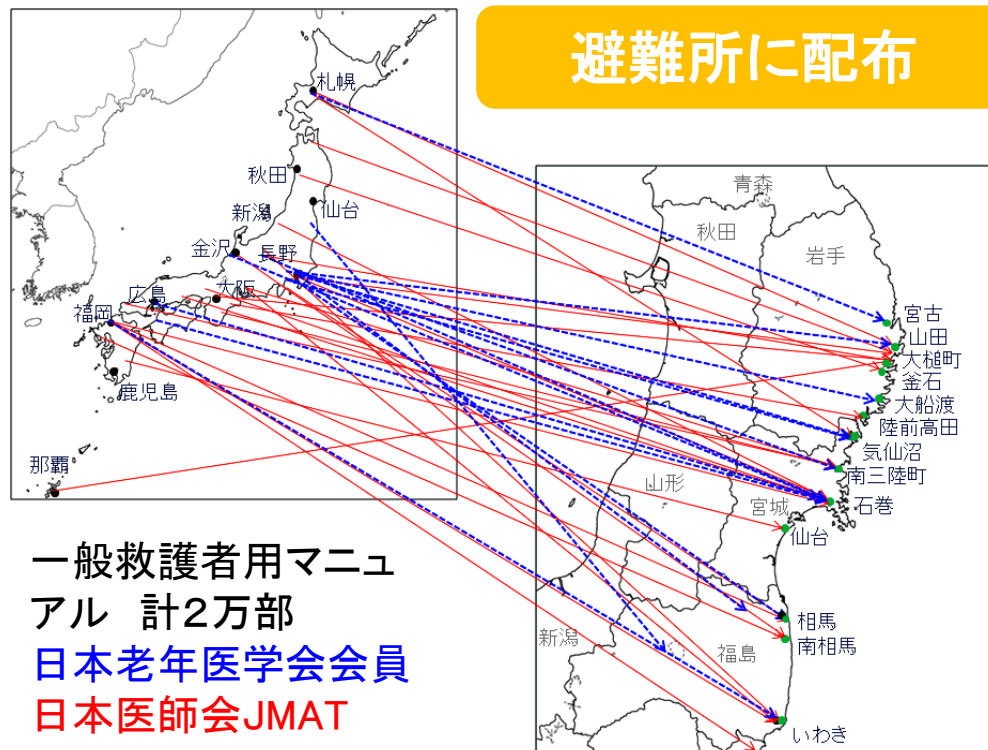
さらにこれらの活動やガイドライン内容を米国老年医学会雑誌(JAGS)、および日本老年医学会英文雑誌(GGI)に英文で報告し、海外へも情報発信した。

ホームページに掲載

2011.3.23～

日本老年医学会: <http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/>

避難所に配布



海外へ情報発信

1. 米国老年医学会雑誌 (JAGS) 2011
2. 日本老年医学会英文雑誌 (GGI) 2011
3. 日本老年医学会英文雑誌 (GGI) 2011